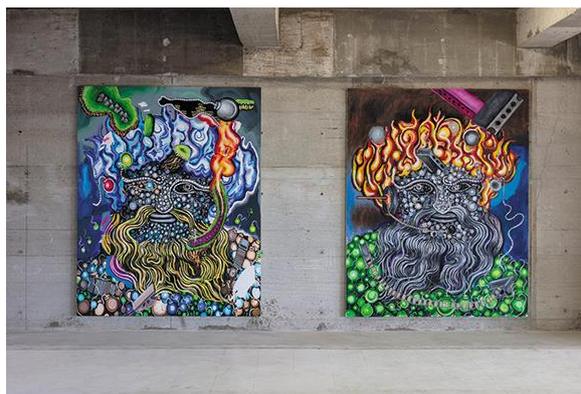


令和5年5月19日(金) 岐阜県発表資料			
担当課	担当	担当者	電話番号
岐阜県美術館	学芸係 教育普及係	磯藤 翔嗣 後藤 正行	直通 058-271-1314 FAX 058-271-1315

「アーティスト・イン・ミュージアム AiM Vol. 14 ^{したらりく}設楽陸」を開催します

県美術館では、アーティストの制作活動を身近に鑑賞する機会の創出のため、アーティストの設楽陸氏を招聘して「アーティスト・イン・ミュージアム AiM Vol. 14 ^{しょうへい}設楽陸」を開催します。

- 会期 令和5年7月20日(木)～9月3日(日)
10:00～18:00 【公開制作】
※夜間開場：7月21日(金)、8月18日(金)は20:00まで開館
※休館日：毎週月曜日(祝日の場合は翌平日)
- 場所 岐阜県美術館 アトリエ
(岐阜市宇佐4-1-22)
- 観覧料 無料
- 主催 岐阜県美術館
- 協力 大垣市情報工房



参考作品 設楽陸(荒々しくも色と形とりの想い/勇ましくも色と形とりの想い)
2022年 (左)キャンバスにVRペイント、アクリル/(右)キャンバスにアクリル

※ 公開制作はどなたでもご覧いただけます。

※ 公開制作期間中は、アーティストが会場で滞在制作を行います。状況によってアーティストが不在の場合がありますのでご了承ください。

■ 作家略歴

^{したらりく}
設楽陸 SHITARA Riku

1985年 愛知県長久手市生まれ

2008年 名古屋造形芸術大学美術学科総合造形コース卒業

これまで一貫して、ゲーム的世界観、仮想、妄想、自身の内なる物語をテーマに絵画や立体などを制作。コロナ禍を契機に、VR(仮想現実)のスタジオでも制作を開始。主宰する「タネリスタジオ」とVRを行き来しながら、現実と仮想の融合や、実存について模索している。

近年の主な展覧会に、個展「something great」(長者町コットンビル/2021)、瀬戸現代美術展(2019、2022)、三谷温泉アートプロジェクト「ととのう温泉美術館」(2023)など。

